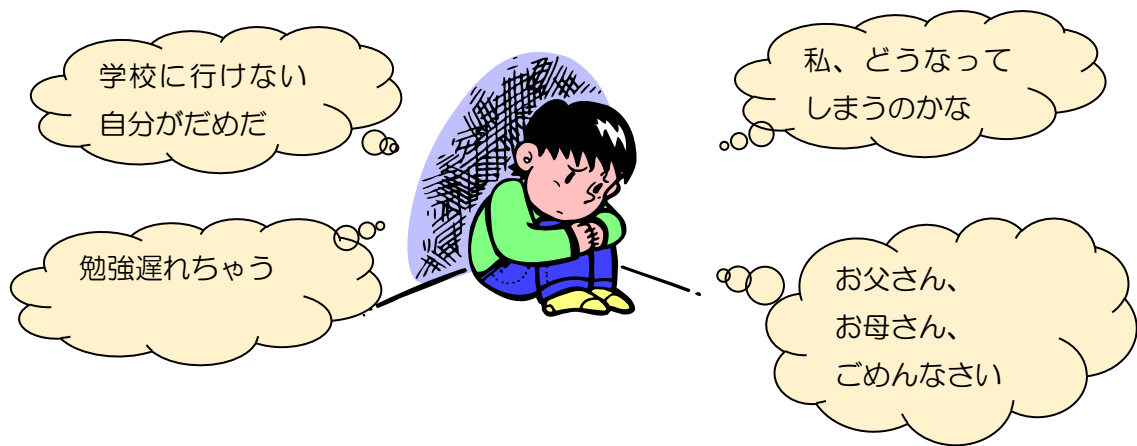


(2) 不登校について考える 6つのポイント

① 不登校という現象をどのように理解したらよいか？

まずは、“**休むという苦しい選択をした**”という理解に立つことが重要です。子供は好んで休んでいるのではありません。**自分を守るためのやむを得ない方策**なのです。心の中は、行かなくてはならないけれど無理だという**葛藤と、不安や怒り**など、様々な気持ちでいっぱいになっています。

不登校の初期は、心の中にたくさん詰まった不安や不満を周囲に爆発させたり、学校の話や人目を避けたりしてしまうことがあります。不登校の対応でご家族が混乱することもあります。が、**学校を休まなくてはならないほど大変な思いをしているという視点**をもっていただきたいと思います。



不登校は、**5つ段階**を通ると言われています。

今、お子さんは、どの時期にいるのでしょうか？

対応方法等の詳細は、資料「(1) 不登校の経過 (5段階における特徴と対応)」をご覧ください。

